

国際交流サロン

12月は、ロシアのあいさつ言葉を紹介します。さあ、“こんにちは”“ありがとう”から交流を始めましょう。

世界のこんにちは／ありがとう(ロシア語編)

- ☆こんにちは
Добрый вечер! (ドーブルウイ チェーニ)
- ☆ありがとう
Спасибо за. (スパスイーバザ)

12～1月の交流情報

- ☆クリスマス絵本読み語り会
(岩間子育て支援センター「くりのこ」)
12月19日(土)午後2時～
- ☆外国人書初め会(友部公民館)
1月16日(土)午前10時～
- ☆日本語教室(友部公民館)午前10時～
1月9日(土)、23日(土)



「ラー市 子どもの絵画展・笠小6年生の作品」

☆外国人書初め会参加者募集

外国人の方が日本の書道を体験できます。書道具は国際交流協会でご準備します。英語で書道の指導をします。参加希望者は協会にお電話ください。

問合せ:(社)笠間市国際交流協会 TEL 090-2761-8711(担当:木村)

クラフト農業レポート No.2

アグリステイ in 笠間

近年の都市住民の田舎暮らし志向への高まりは、笠間クラインガルテンの人気ぶりからも伺えます。そんな田舎暮らしや農業に関心のある都市住民や学生と、作業手不足に悩む地元農家を結びつけようと、今年度「アグリステイ in 笠間」が始まりました。

今回、この新事業に参加したのは、将来は農業や園芸に関係した仕事に就きたいと夢を持つ茨城大学農学部の学生3人(小松明希奈さん、魚落紀子さん、吉田彩子さん)です。3人は、10月～12月にかけて、岩間地区の2軒の農家(池田ちゑ子さん、西山福子さん宅)に滞在しながら約2週間、ソラマメの種まきやサトイモの掘り起こし、草木の定植など、ボランティアで農作業を体験しています。

農業体験中は、農家の方と畑作業だけでなく、食事も共にし、家族同然に過ごします。3人は、「ご飯作りを一緒にしたかったから、時間より早く来たんです。」と、池田さんは「気を遣うこともある

けど、3人が来るとにぎやかで、畑作業も楽しくなり、いいですね。」と話していました。お互い、新鮮な体験の中にも、温かな関係を築いている様子が感じられました。

市では担い手不足に悩む農家が、学生や都市住民を受け入れ、農業体験、農家宿泊などの交流により、地域担い手の確保と地域農業の活性化を図っていきたく考えています。



楽しみながら農作業をする参加者
(右から小松さん、魚落さん、吉田さん)

問合せ 農政課 (内線526)

平成21年度、笠間市は農業施策を重点的に実施しています。